

国立大学法人京都教育大学

平成19年度 決算報告書

平成19年度 決算報告書

国立大学法人京都教育大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3, 9 2 2	3, 9 2 2	0	
施設整備費補助金	1, 7 3 2	1, 7 3 2	0	
補助金等収入	3 2	4 4	1 2	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	2 5	2 5	0	
自己収入	1, 1 3 7	1, 1 7 3	3 6	
授業料、入学料及び検定料収入	1, 1 0 4	1, 1 3 1	2 7	(注2)
雑収入	3 3	4 2	9	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1 2 4	1 3 3	9	(注4)
目的積立金取崩	7 7	7 0	△ 7	(注5)
計	7, 0 4 9	7, 0 9 9	5 0	
支出				
業務費	4, 3 6 7	4, 3 7 1	4	(注6)
教育研究経費	4, 3 6 7	4, 3 7 1	4	
一般管理費	7 6 9	7 2 5	△ 4 4	(注7)
施設整備費	1, 7 5 7	1, 7 5 7	0	
補助金等	3 2	4 4	1 2	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1 2 4	1 5 0	2 6	(注9)
計	7, 0 4 9	7, 0 4 7	△ 2	
収入－支出	0	5 2	5 2	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、大学改革補助金による事業を追加で実施したことにより、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者等の増のため、予算額に比して決算額が27百万円多額となっています。
- (注3) 雑収入については、主として財産貸付料収入の増により、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注4) 当初予定していなかった国からの事業の委託を受けたため、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。
- (注5) 当初予定していた目的積立金による事業について、競争入札の実施等により経費節減に努めたため、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。
- (注6) 教育研究経費については、教育施設修繕経費の増により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注7) 一般管理費については、職員人件費の削減に努めたため、予算額に比して決算額が44百万円少額となっています。
- (注8) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっています。
- (注9) (注4)に示した理由及び、前年度以前に受け入れた寄附金を使用したため、予算額に比して決算額が26百万円多額となっています。